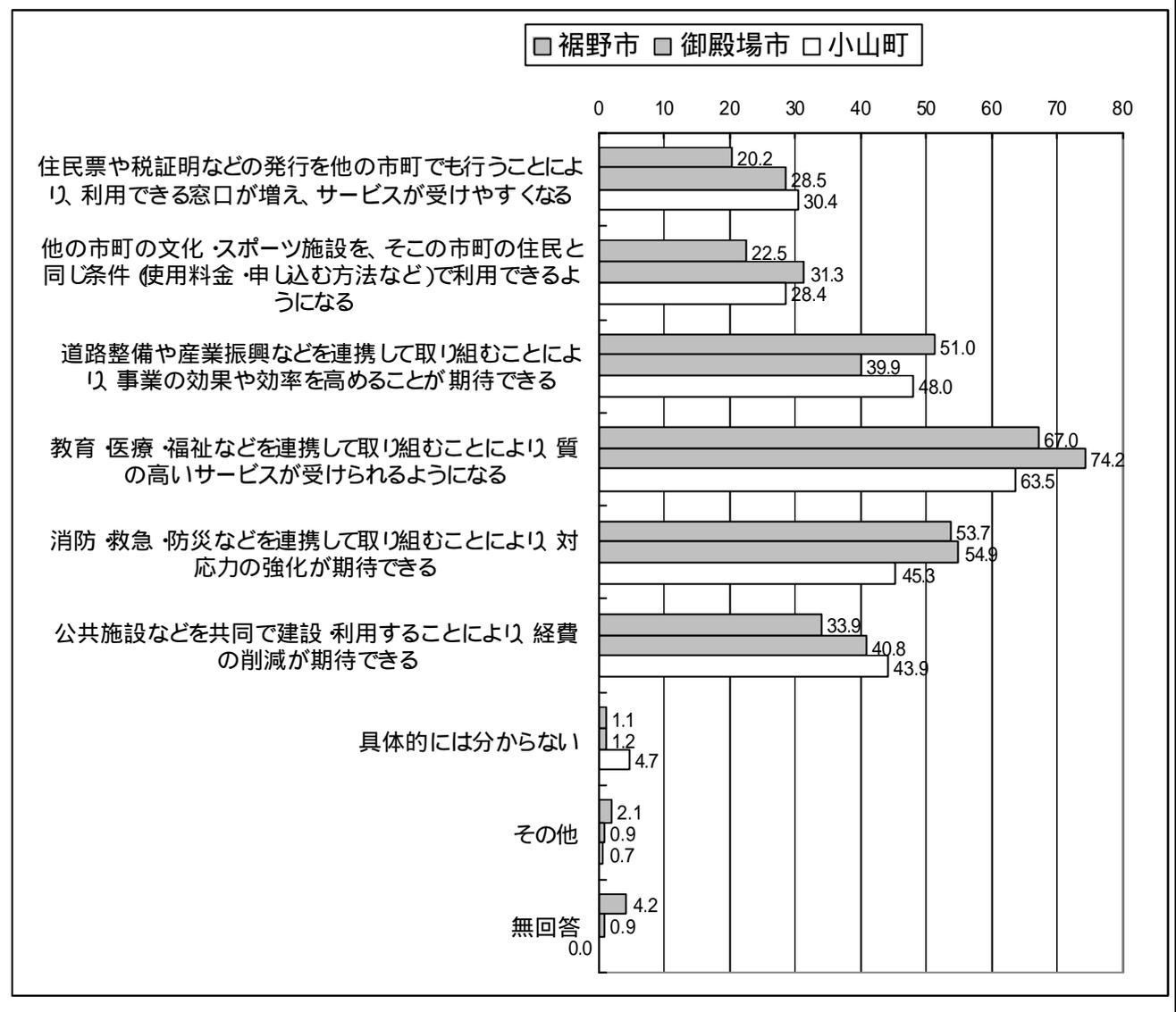


問4 問2で「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである」とお答えいただいた方に伺います。

問4 - 1 広域連携を進める事業の内容や理由について、どのようにお考えですか。次の中から3つ以内でお選びください。

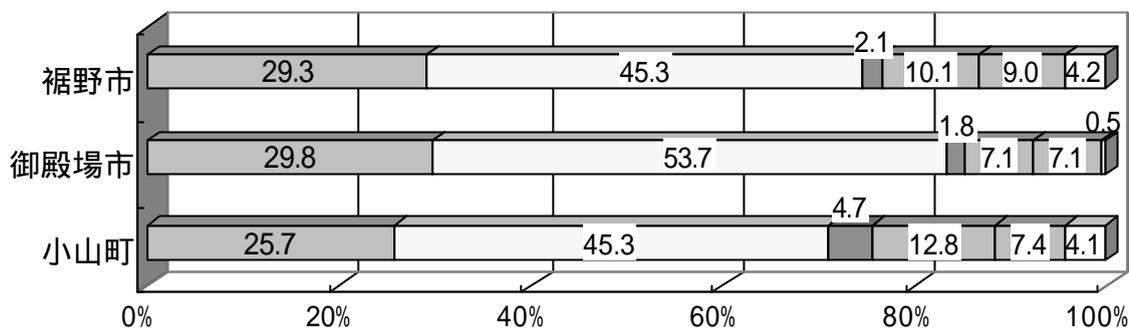


連携して取り組むことにより、「教育・医療・福祉などで質の高いサービスが期待できる」が各市町とも最も多く、約7割、次いで「消防・救急・防災への対応力の強化が期待できる」となっている。1位の行政サービスの向上を望む声が特に高く、各市町とも2位以下を約10ポイント以上引き離す割合となっている。

**ポイント**

市町村合併や広域連携に期待するのは、「教育・医療福祉サービスの充実」という意見が多い。

問4 - 2 将来的に市町村合併をする場合は、どのタイミングが良いと考えますか。  
次の中から1つお選びください。



- 国の道州制移行の進展や県の動向等に合わせて、市町村合併を進めるべきである
- 近隣の市町の動向に合わせて、市町村合併を進めるべきである
- 財政的に困難となったときに進めるべきである
- 国・県の指導等により市町村合併をせざるを得なくなった時に進めるべきである
- 具体的には分からない
- 無回答

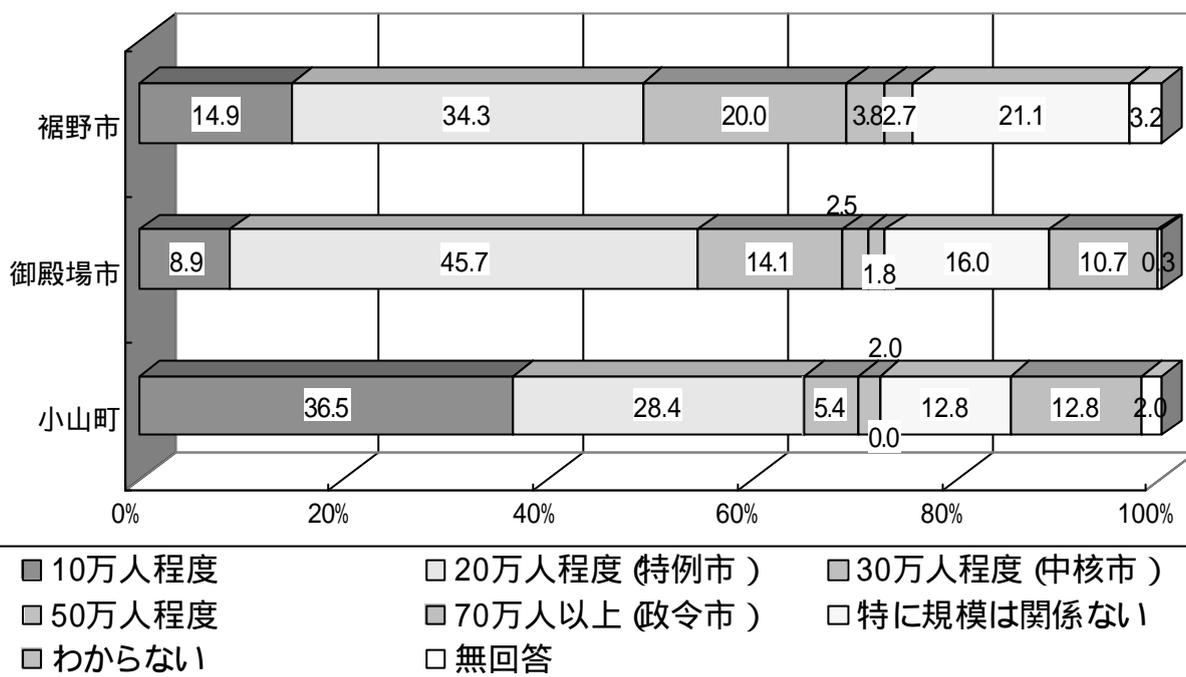
「近隣市町の動向に合わせて」が各市町とも約半数を占めている。次いで「国の道州制移行、県の動向に合わせて」が3割になっている。

**ポイント**

市町村合併のタイミングは、「近隣市町の動向に合わせて」が良い、と考える住民が半数を占めている。

市町村合併推進派と比較すると「近隣市町の動向に合わせて」の割合が高い。

問4 - 3 市町村合併をする場合の人口の適正規模はどれくらいが良いとお考えですか。次の中から1つお選びください。



合併推進派と同様、「10万人～30万人程度」の合計は裾野市 69.2%、御殿場市 68.7%、小山町 70.3%と約7割の住民がこの規模での合併を望んでいる。

合併推進派と比較し、大規模合併を望む住民はさらに低い。

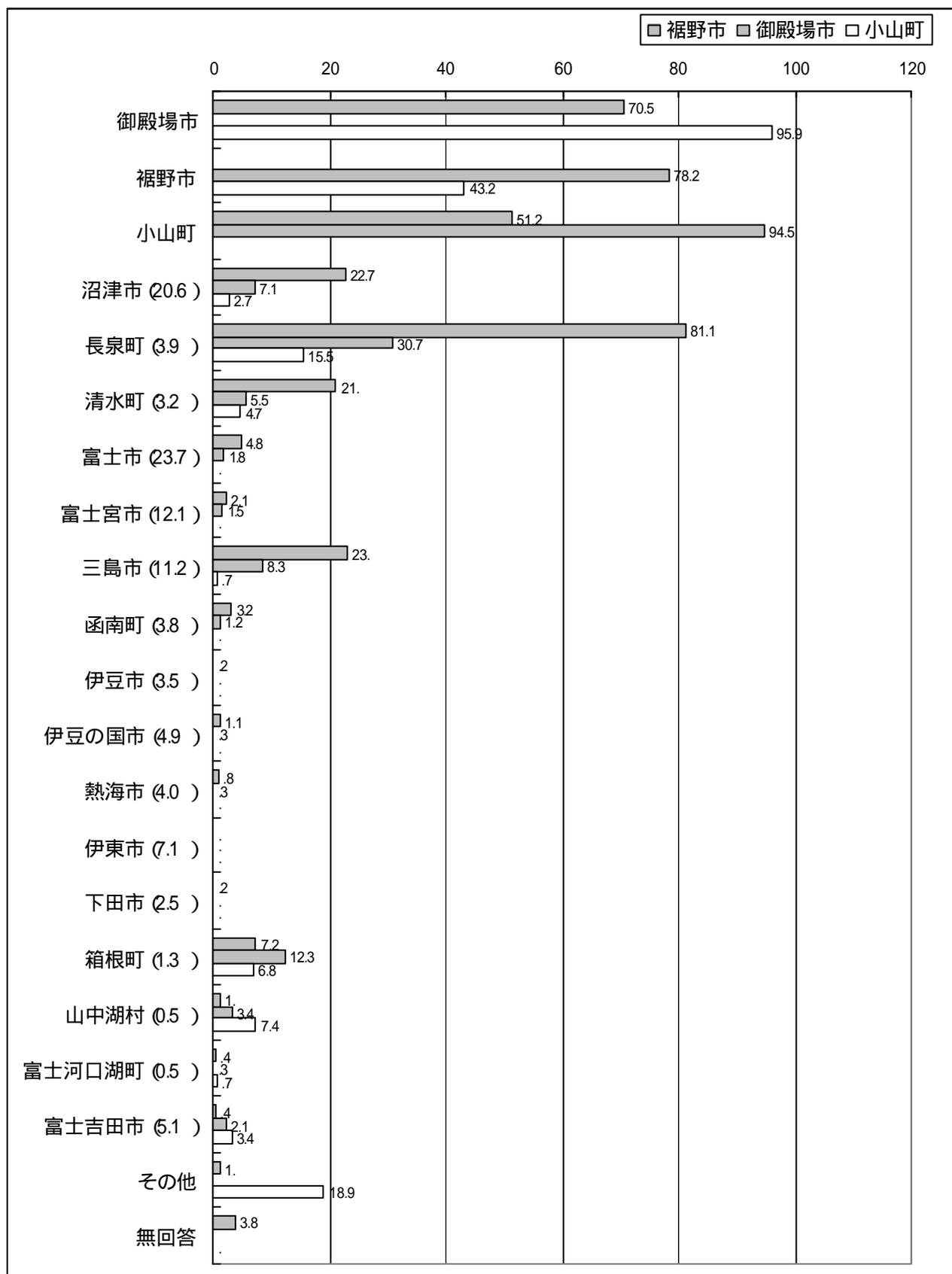
小山町においては「10万人程度」を希望する住民が一番多い。

「10万人～20万人程度」の合計が裾野市 49.2%、御殿場市 54.6%、小山町 64.9%であるのに対し、合併推進派の「10万人～20万人程度」の合計は裾野市 42.2%、御殿場市 46.8%、小山町 63.7%

ポイント

合併推進派と同様、「10万人～30万人程度」の人口規模の合併を望む住民で約7割を占める。合併推進派と比較し、大規模合併を望む住民はさらに低く、比較的小規模での合併を望む住民が多い。

問4 - 4 市町村合併を進める場合、どの市町との合併が適当であるとお考えですか。  
 適当と思う市町を次の中からいくつでも選択してください。



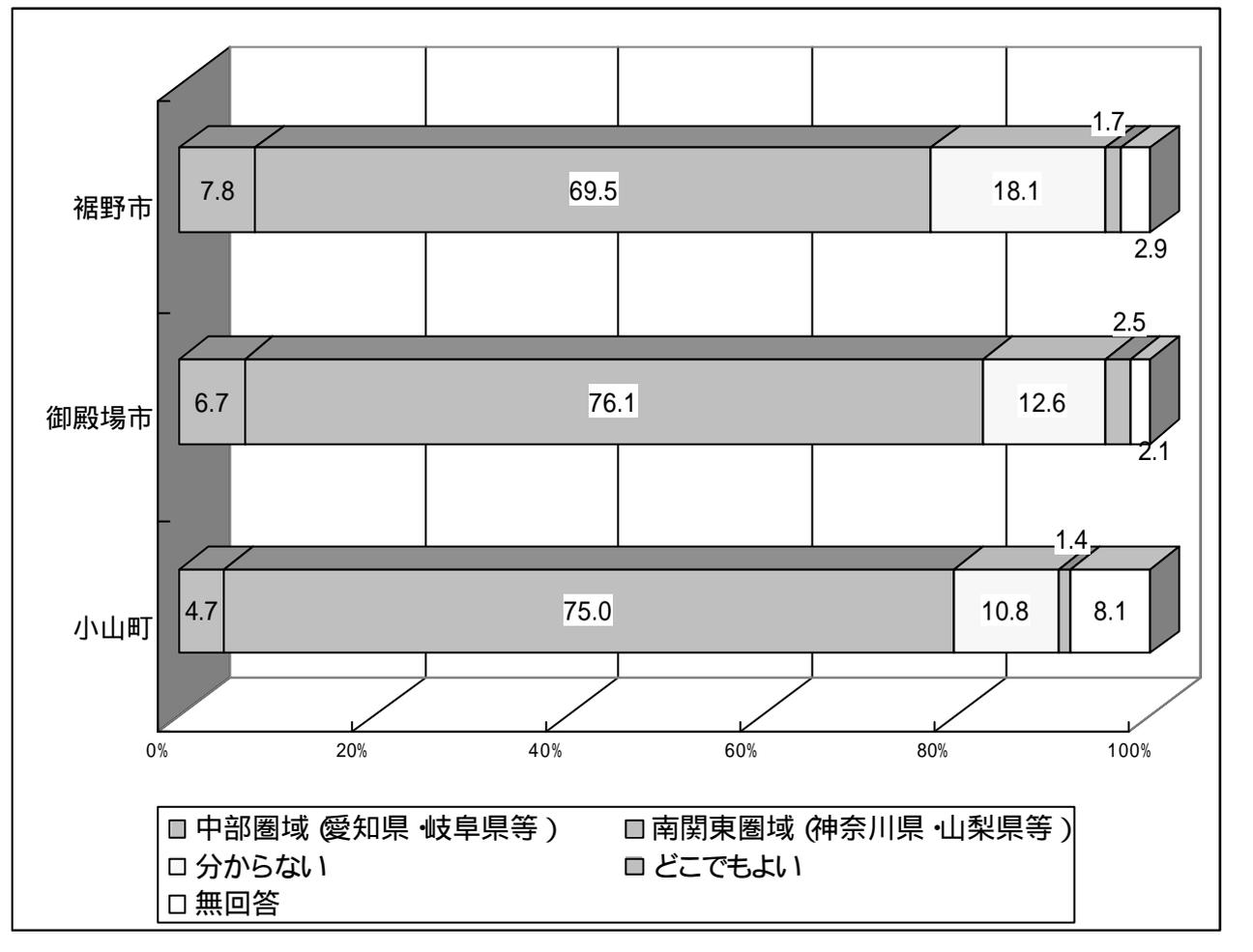
50%を超える支持を受けた市町村は、御殿場市においては「小山町」と「裾野市」、裾野市において

は「長泉町」「御殿場市」「小山町」、小山町においては「御殿場市」と合併推進派と比較して、隣接する市町への傾向がさらに強い。

**ポイント**

合併に適するのは、それぞれの隣接市町に圧倒的な支持。

問4 - 6 都道府県から道州制に移行する議論がありますが、道州制に移行するとしたら、どの圏域に入るのがいいと思いますか。  
次の中から1つお選びください。



合併推進派と同様、「南関東圏域」が約7割と多数を占めている。「中部圏域」という回答は1割に満たず、住民にとって、中部圏よりも南関東圏をなじみ深く感じていることの表れといえる。

**ポイント**

道州制に移行するとしたら、「南関東圏域」に入るべきと考える住民が約7割と大多数を占める。